

が、地域の人が私にいろいろ手を差し伸べてくれたので、今度は、移住してくる人に「ひよこのお鍋」から情報を発信できたらと思います。

深澤 鳥取市のみなさんは少しシャイですが、気軽に声をかけるといろいろ教えていただけると思います。また、中心市街地では空き店舗などを活用した取り組みが行われていますので、交流を深めることでさらに活力あるまちになると思います。

岩田 自分たちで企画して、地域の人や教授の知恵を借りながら挑戦していくという思いで、入学して1年目に起業部を立ち上げました。そんなときに用瀬町ののりから声をかけていただき、空き家を使って活動を始めました。「もちがせ週末住人」と自分たちを名づけ、大学に通いながら週末に用瀬に来てイベントを開いたり地域の行事に参加したりして



ワーホリ体験：プラザー&シスター一

ティビティに関して後進国だと思いません。カナダやニュージーランドなどアウトドアアクティビティの先進国と比べたらまだまだ差があり、海外から来られるお客さんはよくご存知です。日本のアクティビティをその水準にまで持っていきたいです。鳥取市には誰も知らない、埋もれている財産があるので、うまく活用すればそこで雇用も生まれますし、まだまだ可能性があると思います。僕も見えていない、知らないところがたくさんあるので、探しに行きます。

関 私の周りでは、27歳から34、35歳くらいの結婚して子育てしている人が、「ときめき女子」を合言葉にいろいろ活動をしています。ワーホリ体験に来られた人は「ときめき女子」世代の人が多く、「これがしたかったんです」「こういうふうになりたかった」と言

います。民泊施設は去年の1月と10月に2件オープンしました。**深澤** 直接地域に出かけているんな取り組みを進めていただき、鳥取市がさらに活力あるまちになることを期待しています。また、外国人観光客が増え、今の宿泊施設だけでは十分ではありません。外国人にとって民泊は非常に魅力的だと思えますので、これからも民泊の取り組みを進めていただきたいと思っています。

いつまでも住みたい 鳥取市であるために

深澤 鳥取市の人口は2005年をピークに徐々に減り続けていますが、2006年9月から移住定住の相談窓口を設置して移住定住の促進に取り組み、昨年までに2300人を超える人に移住していただきました。ただし、若い世代の市外への転出が多く、人口減少の要因のひとつとなっています。何とか食い止めて、鳥取市に若い人が住んで活躍をしていただく、そのような政策、施策が必要でありしっかり取り組んでいきたいと考えています。

岩田 地域のいろいろな人と関わりを持つことによって、鳥取市に初

市に初めて来て、何か活動してみようと思った人間からすると、鳥取市はやり



ワーホリ体験：マーケット出店準備

小椋 僕がしているのは鳥取砂丘で自転車に乗ってもらう体験なんです。みなさん、アスファルト以外のところを自転車で乗ったことがほとんどないと思います。鳥取市にあれば都会では味わ

にこのままだと思おうようになりました。高校生や大学生のうち

深澤 若い人が鳥取市に定住して活躍するためには、雇用の場がま

岩田 「高校生旅行社」というプロジェクトがあり、地元の高校生が鳥取の魅力を発掘してそれをツ

徳本 鳥取市に来て本場に良かったと思います。東京にいたときは、

深澤 鳥取市では地方創生にかか

岩田 今年も引き続き地域のみな

関 今年は甘酒、醤油こうじ、塩

2018年にかける思い



ワーホリ体験：自然体験

自然の中で過ごしてほしいという思い

小椋 去年話題になった砂丘の

徳本 幸せな親子が増えるよう

深澤 新春にふさわしいすばらしいお話を伺うことができました。

※座談会の内容は要約しています。

座談会の模様は、いなびりよんぴよ